財団法人 日本サッカー協会

平成 19 年度 第 4 回理事会

協議事項

1. JFA ロングパイル人工芝ピッチ公認の件

1. 公認申請者：学校法人山梨学院（山梨県）

施設名：山梨学院 和戸（わど）サッカー場（山梨県・甲府市）

施設所有者：学校法人山梨学院 理事長 古屋忠彦

ロングパイル人工芝：アストロピッチ-SP（N-4025）/（株）アストロ

公認日：2007年7月5日～2010年7月4日

公認番号：第58号

<特記事項>

- ◆ アストロピッチ-SP（N-4025） は製品検査（ラボテスト）を完了し、JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。
- ◆ 公認規程に基づき2回の検査（フィールドテスト）を実施し、JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。

2. 公認申請者：社団法人福岡県サッカー協会（福岡県）

施設名：福岡フットボールセンターBコート（福岡県・福岡市東区）

施設所有者：社団法人福岡県サッカー協会 会長 石井幸孝

ロングパイル人工芝：ハイブリッドターフ（XP-62）/ SRIハイブリッド（株）

公認日：2007年7月5日～2010年7月4日

公認番号：第59号

<特記事項>

- ◆ ハイブリッドターフ（XP-62） は製品検査（ラボテスト）を完了し、JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。
- ◆ 公認規程に基づき2回の検査（フィールドテスト）を実施し、JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。

2. サッカー及びフットサル競技規則の和訳の修正の件

競技規則に用いられている語句の表記を分かりやすいものとすると共に統一を図るよう、また複数の解釈にならないよう修正する。

3. E-learningによるサッカー4級審判更新講習会の件

サッカー4級更新講習会を以下の通り、インターネット上でも受講可能とする。

(1) 目的

(ア)4級審判員へのサービス向上

- ◆ 1～2月に講習会開催(受講)不可能時の対応
- ◆ 審判員本人の予定に合わせた受講、ペースに応じた学習
- ◆ 審判員の時間的、経費的負担軽減
- ◆ 最新情報の提供と審判員の能動的活動の促進

(イ)都道府県協会のWEB登録業務軽減(時間的、経費的負担軽減)

(ウ)都道府県協会審判インストラクターの講習会担当業務を軽減及び実技等指導充実

⇒ 実働審判員の審判技術向上

(2) 対象等

(ア)講習会：当面サッカー4級更新講習会のみとする

(イ)想定利用人数：1～2万人(4級16万人×65%[更新率]×10～20%[利用率])

(ウ)利用期間：9月～2月(平成19年度は12月から)

(エ)受講費：1,000円(全国一律：ただし登録費を除く)

(3) 都道府県協会における手続き

(ア)講習会の設定・受付(K i c k O f f)

(イ)受講修了後の合否設定

(4) 問い合わせ窓口の設置(J F A)

4. 平成18年度公認S級コーチ養成講習会判定結果の件

全てのコースを修了し、筆記試験・口頭試験・指導実践・レポート全てにおいて合格したため下記1名を公認S級コーチと認定する。

氏 名 : 浅野 哲也 (あさの てつや)

所 属 : 湘南ベルマーレ

生年月日 : 1967年2月23日

資 格 : 2005年 公認B級コーチ (旧C級コーチ)

指導歴 : 2006年ー 湘南ベルマーレ ヘッドコーチ

2005年ー 国際学院高校 コーチ

2003年6月ー12月 堀越高校コーチ

※ 参考： 現S級コーチライセンス保持者数 247名

5. 大学・専門学校における指導者養成講習会の件

以下の大学において、平成19年度以降より公認C級コーチ養成講習会の開設を認める。

1. 東京学芸大学（東京都）（C級）

インストラクター：山口 隆文（公認47FAインストラクター） 公認S級コーチ
福井 哲（公認47FAインストラクター） 公認S級コーチ

2. 大東文化大学（東京都）（C級）

インストラクター：坂庭 泉（公認47FAインストラクター） 公認A級コーチ

参考：開設認定校数 大学：21校 短大：2校 専門学校：14校

6. キャプテンズ・ミッション(CHQ)関連事項の件

I. 都道府県フットボールセンター整備推進事業について(協議事項)

※(協)資料No.1

1. 「都道府県フットボールセンター認定要項」の改正について

(別記)都道府県フットボールセンター認定要件

4. 実施事業等に関する要件

【旧】

- 1)当該施設は、都道府県サッカー協会が主体となって、次に掲げるような事業を実施するための拠点施設であること。

【新】

- 1)当該施設は、都道府県サッカー協会が主体となって、次に掲げるような事業を実施するための拠点施設とし、「JFAスポーツマネジャー」の資格保持者(JFAスポーツマネジャーズカレッジ修了者)、「JFAスポーツマネジャーズカレッジ」の受講予定者、若しくは、各種事業の運営の実務経験を5年以上有する者が、その運営に携わること。

2. 「都道府県フットボールセンター整備助成事業 助成金交付要項」の改正について

(別記)都道府県フットボールセンター整備助成事業 実施要領

5. その他

【追記】

- 3)助成事業により整備される都道府県フットボールセンターは、「JFAスポーツマネジャー」の資格保持者(JFAスポーツマネジャーズカレッジ修了者)、「JFAスポーツマネジャーズカレッジ」の受講予定者、若しくは、各種事業の運営の

実務経験を5年以上有する者が、運営に携わる拠点施設であること。

3. 平成20年度助成 展開スケジュール

平成20年度助成の実施に向けて、次のようなスケジュールで、展開する。

2007年8月1日 助成関連文書展開・募集開始

2007年10月1日 交付要望書の提出締切

2007年12月 助成金交付の内示（JFA理事会の承認）

2008年2月18日 交付申請書の提出締切

2008年3月 助成金交付の決定（JFA理事会の承認）

II. CHQ都道府県協会ミーティング(47都道府県訪問会議)について(報告事項)

1. 開催日時(予定)：2007年7月6日～9月17日
2. 場 所：都道府県協会事務所・近隣施設等
3. 参 加 者：都道府県協会メンバー／CHQメンバー：2名／他部署：1～3名
4. ミーティングの主旨：
 - 1) 都道府県協会⇔JFA間の直接的コミュニケーションを取る
 - 2) 都道府県協会の実情を把握する
 - 3) 都道府県協会内の議論として活用する